

Ⅲ 学力検査（A日程及び連携型中高一貫教育校に係る特別選抜）の教科別状況

国 語

1 出題のねらい

言葉の特徴や使い方、話や文章に含まれている情報の扱い方、我が国の言語文化に関する知識及び技能と、国語で正確に理解し適切に表現する思考力・判断力・表現力等の力をみることをねらいとした。

- (1) 言葉の特徴や使い方、話や文章に含まれている情報の扱い方、我が国の言語文化については、漢字の読み書き、書写、文法の基礎的な事項、情報と情報との関係に関する事項、伝統的な言語文化に関する事項などについての力をみるものとした。
- (2) 「書くこと」については、文章の展開に即して内容を捉えたり、文章の内容について自分の考えをもったりしたうえで、目的や必要に応じて適切に書き表す力をみるものとした。
- (3) 「読むこと」については、文脈の中における語句の意味を的確に捉えるとともに、文章の構成や論理の展開などに注意しながら、内容を正確に理解する力をみるものとした。

2 結果の概要

平均点は25.0点で、昨年度より1.6点上がった。行書の基礎的な書き方、情報の取り出しについては一定の力が認められる。文法の基礎的な事項、情報と情報の関係についての理解が十分とは言えない。また、目的に応じて文章の内容を把握して書くことに課題がある。

(1) 平均点(50点満点)の推移

年 度	R 8	R 7	R 6	R 5	R 4
平 均 点	25.0	23.4	21.7	21.3	22.4

(2) 正答率の推移

年 度	R 8	R 7	R 6	R 5	R 4
言葉の特徴や使い方・ 漢字・書写・表現の技法	58.4	55.1	57.8	56.0	57.3
現 代 文	33.0	38.8	26.0	26.7	30.8
古 典	57.8	49.4	39.8	31.7	51.6

3 結果分析に基づく今後の指導のポイント 【 】は該当問題番号

☞ 目的に応じて必要な情報に着目して内容を把握し、自分の考えが伝わる文章になるよう工夫する力を身に付けさせること。【☐ (三)】

文章中の情報を整理して内容を把握し、内容を解釈できているかを見る思考・判断・表現の力を問う問題であった。正答率は9.2%(32人)、無答率は5.7%(20人)、部分点29.2%(102人)。傍線部の主語は「建築」であるが、主語を「住まい手」に書き換え、筆者の考えを要約する問題である。誤答は大きく三つであった。

- ①主語が「建築」になっているもの 36.9%(72人)
- ②傍線部を含む段落をそのまま抜き出しているもの 20.5%(40人)
- ③主述が乱れているもの 9.7%(19人)

①と③については、問われている主語をもとに、文章中から必要な情報を取り出したうえで書くこと、②については、設問の情報を整理することができていないと考えられる。また、主語を書いていない解答が、全体の36%(127人)に上り、そのすべてが誤答や減点となっている。

短い文章から情報を取り出す問いに対しては、80%以上の高い正答率であることから、やや長い文章の情報を整理することが必要である。また、目的に応じて文章を書く際には、思考を整理し、考えを深め、自分の考えが適切に伝わるように表現を工夫する経験を充実させるとともに、主語を明確にすること、主述の乱れに留意することなど、文章を整える指導も図りたい。

問 題			正 答	正答率	無答率
一	(一)	1	こうさく	16.0	0.3
		2	した (う)	53.0	2.9
	(二)	1	奮起	33.2	14.6
		2	済 (む)	66.5	12.3
	(三)		14 (画)	83.4	0.6
	(四)		イ	75.6	0
	(五)		エ	83.9	0.3
	(六)	1	ウ	61.3	0.3
		2	イ	87.7	0.3
		3	ア	70.5	0.3
		4	を・て	9.5	2.3
		5	体言止め	59.9	3.4
二	(一)		エ	85.4	0.3
	(二)		生きながらえた建築	52.2	8.0
	(三)	(例)住まい手が、建築に愛情と敬意をもって、手入れをしながら、共に長い時間を過ごすこと。	9.2	部分点 29.2	5.7
	(四)		ウ	31.2	0.6
三	(一)	(例)筆者の考え方や主張に共感できたり、期待していた知見を得ることができたりすること。	13.5	部分点 22.1	6.9
	(二)	(例)筆者は、得るものがなかったという思いも読書から得たものであり、将来の読書に影響を与えていく可能性があると考えている。私も役に立たないと思っていた本が、後になって新たな考え方を与えてくれたことがあるので、今の読書は将来の読書に影響すると思う。	6.9	部分点 26.4	8.6
四	(一)		いとおしくて	84.2	0.9
	(二)		ウ	51.5	0.6
	(三)		ウ	42.4	0.9
	(四)		ア	53.0	0.3

※ 正答率等の数値については、学力検査受検者の中から 10 人に 1 人の割合で抽出した 349 人分の答案を対象として算出した。